

実践キャリア・アップ戦略～食の6次産業化プロデューサー（通称、「食 Pro.」）の紹介

中部大学は、2015年12月に一般社団法人食農共創プロデューサーズ（FACP）から、「食 Pro. 育成プログラム」の教育研修機関として認証を受けました。教育研修機関の名称は、**中部大学「食 Pro.」**です。

2016年4月から、食品栄養科学専攻内で「食 Pro.」レベル1、2の「わかる」の資格を取得できる「育成プログラム」を開始し、2020年度までにレベル1は32名、レベル2は22名の学生が食 Pro. の資格を取得しました。

食 Pro. の詳しい内容は、下記のFACPホームページから取得できます。

[国家戦略プロフェッショナル検定：実践キャリア・アップ戦略 食の6次産業化プロデューサー \(6ji-biz.org\)](http://6ji-biz.org)

■食 Pro. 取得の効果

食 Pro. は、**食の6次産業化**を担う人材の認定・育成を目的としています。生産（1次産業）、加工（2次産業）、流通・販売（3次産業）の一体化や連携によって、地域の農林水産物を活用した加工品の開発、消費者への直接販売、レストラン展開など、食分野で新たなビジネスを創出できる人材を育成・認定するシステムです。食 Pro. の資格を取得することで、将来、①～③の効果が期待されます。

- ①将来、6次産業や食品企業で働くためのスキル・アップ
- ②食 Pro. として、自己の能力・スキルをPRでき、就職でのチャンスの拡大
- ③食分野で活躍できるプロ人材としてのキャリア・パス（能力・経験）の明確化

■**食の6次産業化とは、生産（1次産業）、加工（2次産業）、流通・販売・サービス（3次産業）の一体化や連携により、加工品の開発、販売、レストランの展開などのビジネスを指し、 $1 \times 2 \times 3 = 6$ 次産業**と呼びます。



■食 Pro. の検定制度

対象は農林漁業者、食品産業・外食産業・小売業などの従事者、行政機関や関連団体の職員などから学生まで、食品分野に関心がある方すべてです。段位はレベル1～レベル6までの6段階（図1）があり、レベル1は入門レベル、レベル2、3は一定の指示のもとに6次産業や食分野で仕事ができる段階です。レベル4以上はプロレベル



図1 食Pro.段位制度

の段位です。

本学では、食 Pro. の資格の取得希望者に対して、卒業までにレベル 2 の段位の取得を目標として学生への指導・支援をしています。

■食 Pro. レベル 1、2 取得の仕組み

レベル 1 は、本学の認証された育成プログラム（表 1）を修了し、食 Pro. 事務局に申請することでレベル判定されます。座学を中心に実習や視察を加え、6次産業化論、経営分析、食品衛生、生産・加工・流通など、当該領域に係る基礎的な知識を習得します。これらの学習内容は、表 1 に示した科目を履修することにより習得できます。

表 1 育成プログラムの構成

学年	申請に必要な履修科目
1 年	食品栄養科学入門
2 年	食料資源流通学 食品化学Ⅱ
3 年	食品製造加工学 食品開発論 食品衛生学 食品製造・加工学実習

レベル 2 は、「できる（実践的スキル）」と「わかる（知識）」の審査項目があります。

レベル 2 「わかる（知識）」は、レベル 1 と同様、認証された育成プログラム（表 1）を修了することで取得できます。レベル 1 の基礎的知識に加えて、実習や演習の比重を高め、関連法規、財務会計、事業計画、経営分析、マーケティング、コーディネートなど、個別の手法論の基礎を習得します。

レベル 2 「できる（実践的スキル）」は課題レポートの提出があり、「わかる」で習得した「知識」を、自身の「能力」として発揮できるかが問われます。レベル 2 は「できる」と「わかる」を同時に申請することで段位認定されます。

■食 Pro. 認定の実績

初 回（2019 年度）認定者 レベル 1 32 名、レベル 2 12 名

第 2 回（2020 年度）認定者 レベル 2 10 名

本学では、2020 年度からレベル 2 の取得を推奨しています。

■食 Pro. 育成プログラム修了証の授与式とレベル 2 申請方法の説明会の様子

2021 年度は、11 名の学生がレベル 2 の取得を目指して、育成プログラム修了証の授与式（左）とレベル 2 申請の説明会（右）に臨みました。

